



発行所
東京九嶺宮原同窓会事務局
電話 090-2421-7841 岡村
印刷：泰成印刷株式会社
電話 03-3631-8141

勇猛果敢に

東京九嶺宮原同窓会 会長 脇本省吾
(宮原13回)



元日に能登半島地震の発災、2日に羽田空港地上衝突事故と、年明けから辛いニュースが全国を駆け巡りました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことを受けて、3年超という長期に渡った閉塞感からやっと解放され、2024年は良い年になるだろう、良い年にしなければと前向きな気配が広がる中での出来事でした。被災・被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

地震発災後の続報を刻々と見やるに、始めは発表される死者数も少なく、これは早期に復旧・復興が叶うのではないかとという予測も立ちました。ところが実際は、日々増加する死者数、1か月以上も続く断水、陸の孤島と化した地域の苦難と、時間が経つほど厳しい現状が明るみになりました。日本全体を覆っていたあの妙な安堵感はいったいなんだったのか。半島という特殊な地形や、ボランティアに入りたくとも受け入れられない地元の事情など、理解していない政府の後手に回る対応が歯がゆく、憤りさえ覚えました。いま一度気を引き締め直さねばならないのではないか、と思わないわけにいきません。

願いと、実質的な準備は別物だ、とは私は考えます。災害や事故はないほうがいいに決まっています。ですが、いざそうなったらどうするのか。普段から実質的に、かつ現実的に準備しておく必要があるのではないのでしょうか。世界に目を向ければ戦争が進行形です。日本にとっても対岸の火事ではありません。戦争にしないためになを準備すべきか。私たちはもつと真剣に考え、話し合わねばならないでしょう。

政治資金の裏金問題なども毎日報道され、いままさに内憂外患の真つただ中です。政治家を糾弾するのは当然として、日本の民主主義はどうあるべきか、国民の私たち一人一人も襟を正して考えたいものです。日本の民主主義は常によそから与えられてきました。いよいよ、日本のための日本の政治を日本国民が主体になって考える時が来ている。平成28年から選挙権が満18歳以上に引き下げられ、高校生のうちから政治に関わることができるようになりました。選挙とはなにか、投票とはなにか、民主主義とはなにか、政治への興味を掻き立てる教育を、身近な若者に与える責任が私たちにはあります。もちろん、まずは私たち自身が目、目の前の個人的な利益のみに左右され、最小限にしか動かない冬眠のような状態から、抜け出すことが大事ですね。

母校の宮原高校が創立100周年を迎える本年を善い年にするために、前途有望な若者たちをみんなまで応援し押し上げていきたいと思います。

いよいよ幕を開けた、 母校100周年の特別な年。

九嶺宮原高校同窓会会長 森澤 大司(宮原26回)

母校呉宮原高校が創立100周年を迎える、2024年が春を迎えました。

100周年記念式典が開催される11月まで7ヶ月余り、皆さんの地元である呉市では、在校生や卒業生からなる「100周年記念事業実行委員会」のメンバーの手によって、その準備もすでに佳境を迎えています。



昨年9月、「日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区」が閉鎖し、雇用を含めておよそ2万人の方が、呉市から流出しました。工場跡地は、今後10年をかけて解体を行うそうです。その後の土地利用の方針などは決まっています。

残念ながら、呉市の人口が20万人を割る日も、確実に迫ってきていると言わざるを得ません。こうした状況の中で大切になってくるのが、一人一人の可能性を、大きく広げていくことなのではないでしょうか。

近隣に目を向ければ、YouTubeなどでも話題の若きリーダー、芸高田市の石丸市長も「教育」に徹底的に投資する！」と宣言されています。そんなふうには、未来を担う子供たちの志や夢を育み、後押ししていけるような仕組みが

くりが、いま強く求められていくような気がしてなりません。

今年、呉宮原高校が100周年を迎えられることは非常にめでたく、感慨深いものではありません。

が、次の呉市の100年は、今までは大きく違ったものになっていくことでしょう。学校の統廃合などももちろん行われていくはず

でも、いや、だからこそ、九嶺宮原高校同窓会の存在は、今後ますます意義深いものになっていくのではないのでしょうか。

卒業後、さまざまな環境で異なる経験をしてきた人々が、これからの時代を担う在校生と同じ時間を共有する。こうした機会はとても貴重なものです。だから、ただ昔の思い出を懐かしむだけでなく、後輩たちの未来や呉市の子供たちのこれからを考える場にもしていきたいと思うのです。

具体的な何かが始まっているわけではありません。でも、自分の思いを言葉にしてみることに。何か

を伝えようとしている人の言葉に耳を傾けること。そうした姿勢が何かのキッカケになり、人々の思いをひとつにし、一緒に考えるための第一歩につながっていきます。

コロナ禍も落ち着き、誰もが自由交流できる日常が戻ってきています。東京九嶺宮原高校同窓会会員の皆様が、その親交をますます深められますと共に、母校100周年の今年は、いつもに増して地元・呉市の動向に関心を持っていただき、宮高で頑張っている後輩たちを、「100周年記念事業実行委員会」の取り組みを、暖かく見守っていただければ幸いです。



【創立100周年シンボルマーク】

次の百年に向けて 宮原のいま

広島県立呉宮原高等学校 校長 峯本 英紀 (宮原33回)

昨年の東京九嶺宮原同窓会総会では大変お世話になりました。学校の応援団の力強さを改めて実感する機会となりました。楽しい一時をありがとうございました。

東京九嶺宮原同窓会の皆様をはじめ諸先達の方々には、母校に細やかなお気遣いとともに手厚い御支援をいただいています。この場を借りて心よりお礼申し上げます。今後とも学校のことを安心して見守っていただけますよう学校の様子をお知らせしたいと思います。

ご承知のように、昨年5月には新型コロナウイルスの取扱も変わり、制限なく教育活動ができるよ



うになりました。ソーシャルディスタンスだとか黙食だとか、学校での賑わいを制約し、本来宮高生が持つ快活さや挑戦心のためらいをもたらししてきましたが、マスクの着用率の低下に反比例して、笑い声や歌声が戻ってきました。生徒たちがマスクを外して気付いたことは、挨拶をする生徒の表情です。学校では、宮高四宝として「挨拶・時間・身だしなみ・掃除」を掲げ、当たり前の何気ないことを自然にできることが校訓である「自主・自律」の第一歩と捉えて、生徒に求めてきました。その甲斐もあり、どの生徒もただ会釈をするだけでなく、マスク越しでも声に出し、時には立ち止まって挨拶をします。来校者からも「すがすがしく気持ちのよい学校ですね」と、感心されるほどです。しかし、これだけではなかったのです。生徒は、口角を上げてにこやかな表情で挨拶をしていたのです。これ

は目元だけでは分からなかったことでした。

誰からも大切にされ、愛される要素を備えた生徒たちの未来を拓くため、秘めた可能性を引き出し、力を付けて社会に送り出す責任を強く感じる瞬間です。教職員もそのことを意識し、働き方改革で今までどおりにいかないことも増えました。工夫し生徒に向き合う時間の確保に努めてくれています。

コロナの時期には、こうした生徒たちの姿を保護者にさえ見ていただくことが叶いませんでしたが、合唱祭、文化祭、体育祭、芸術鑑賞会と多くの方に御来校いただきました。文化祭の時には、千人を超え、スリッパが足らなくなるほどでしたし、体育祭の時には想定を超え、用意したテントに収まりきらず、立入禁止区域にしていた箇所を開放せざるを得ないほどの盛況ぶりです。折角来ていただいた方にはご不便をかけ、申し訳なく思いながらも、関心の高さと応援いただける

ことに感謝するばかりでした。お陰をもちまして、転出率全国一の広島県でその要因となっている呉市においても、入学定員を確保できる数少ない公立高校として、二中以来の「大らかに和める」校風は中学生及び地域社会から高く支持をいただいています。

また、進学実績について御心配される声もあります。確かに諸先輩方の様に難関大学とされる高等教育機関や関東・関西方面に進学する生徒数が減ったことは事実ですが、往時に比べて生徒数そのものが半減していることに加え、根強い地元志向と経済的な理由を含む社会情勢の変化によるところが大きいように思います。昨春卒業



した生徒たちは、コロナに苦しめられた三年間にも拘わらず、過去十年で国公立大学合格者数は最高でした。粘り強く試験に立ち向かい成果を出す生徒たちだったと思います。

一方、視野を広げて活躍の舞台を広く求める気概を育て切れていないのも事実です。百周年といふこの好機を逃さず、首都東京で活躍される皆様に生徒のキャリア形成のお力添えをいただければと思います。

いよいよ本年十一月十六日(土) 呉信用金庫ホールにて、創立百周年記念式典及び別会場で祝賀会を挙行していただきます。これらは同窓会の皆様あつての行事となります。ご協力願うと共に、当日来呉していただければ幸いです。

生徒が母校に誇りを感じ、「呉宮原高校で学んでよかった」と思えるものになること、輝く生徒の姿を見て「学ばせてよかった」と思える式典になることを切に望んでいます。

*峯本校長先生は3月末で退任されました。

母校100周年に向けて

九嶺宮原同窓会副会長 村石雅昭 (宮原22回)

昨年は、東京九嶺宮原同窓会に参加させて頂き、楽しい時を過ごさせて頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

母校広島県立呉宮原高等学校は、1924年に当時の文部省が呉市立中学校の件を認可し開校 呉駅前

前に仮校舎があり1926年には、現在の場所に校舎新築移転されその規模は1928年には1000名定員の許可を得ていました。

翌29年に県立に移管され呉第二中学校と改称し、教育基本法により1949年呉宮原高等学校が発足され 本年創立100周年を迎えます。少子高齢化が進む中、学校の統廃合、高等学校の募集停止

廃校も増えていく中、素晴らしいことだと喜びに堪えません。因みに 母校の生徒数も、減少傾向に

あり過去最高は1966年の卒業生599名でしたが、今は一学年200名 全校生徒600名です。嬉しいことに今年の入試志願者は、定員200名に対し216名となつています。

今後は、同窓会としてのバックアップも、必要となつてくると思います。さて、九嶺宮原同窓会では、100周年に向け実行委員会を立ち上げ、今年11月16日の記念式典と記念事業等に向け進めて参っております。その第一歩として 体育館の音響設備を改修致しました。100周年記念会員名簿は、名簿専門の業者を通して昨年11月に発刊しました。名簿と一緒に保管してもらおうべく保管箱の大きさに合わせて、記念誌は、関連事業終了後の来年2月に発行を

致します。

別紙でご案内のとおり、100周年に対し協賛金のご協力を御願ひ申し上げます。母校の益々の発展、次の100年に向けご支援頂きますようよろしく御願ひ申し上げます。

以上



県立呉第二中学校



県立呉真敵高等学校



県立呉宮原高等学校

2023年東京九嶺宮原同窓会

5年ぶりの開催!!

●日時 2023(令和5)年

11月18日(土) 11:30~14:30

●会場 PARTY For ETERNITY 銀座

●参加者 来賓10名、会員66名、

合計76名

第一部 総会

東京九嶺宮原同窓会 会長挨拶

脇本省吾 (宮原13回)

役員交代挨拶

第二部 講演

「ウクライナ、台湾そして日本」

高田克樹 (宮原32回)

第三部 懇親会

・来賓紹介

・母校校長挨拶

峯本英紀 (宮原33回)

・九嶺宮原同窓会 会長挨拶

森澤大司 (宮原26回)

・乾杯

・校歌斉唱

・閉会挨拶

総会では、長年にわたり同窓会の発展に貢献された前事務局長の末永俊幸さん(宮原12回)、会計の阿利節子さん(宮原14回)へ感謝の意をこめて花束を贈呈しました。ご挨拶では役員就任時のエピソードをはじめ長年のご苦労について語っていただき、あらためてお二人のご尽力に敬意を表しました。



末永さん(宮原12回)への花束贈呈

講演では元陸上総隊司令官(朝霞)の高田克樹さん(宮原32回)に、「ウクライナ、台湾そして日本」という演題でご講演いただきました。普通は聞くことができない、元総隊司令官からの貴重なお話を興味深く伺い、たいへん好評でした。
懇親会は来賓ご挨拶の後、脇伸治さん(宮原1回)の乾杯の音頭によって盛大にスタートしました。90歳超えにも関わらずその矍鑠(かくしゃく)としたお姿に一同驚愕でした。世代別に座席を決めていましたが、中盤以降は世代を超えて入り乱れ、じゃんけん大会もあり大盛会となりました。校歌斉唱では気鋭のテノール歌手の澤原行正



高田さん(宮原32回)による講演



脇さん(宮原1回)による乾杯



万歳三唱 閉会



澤原さん(宮原55回)による校歌斉唱

さん(宮原55回)のリードで盛り上がり、最後は常任幹事の泉徹さん(宮原20回)の万歳三唱で締めくくることができました。本当に楽しい会でした。今回参加のみなさんありがとうございました。是非参加してください。

東京九嶺宮原同窓会に参加して

松山 高久(宮原12回)

私は、三年時に、他県から転校編入しましたので、宮原高校には、1ヶ年間の生活でした。他県の学校も、公立で男女共学でした。ただし1、2年時は、男子のみのクラスでした。宮原に

なお、感想アンケートでは、おおむね「良い」との評価でしたが、会場についての改善要望も受け取っていますので、次回開催の課題にさせていただきます。

正法地哲彦(宮原31回)

来て、共学のクラスになり、複雑な心境でした(前の学校は市立で、宮原は県立なので一悶着ありましたが何とか認めて頂きました。父の業務の関係で、呉に転動になり、吉浦に居を構えました。転校手続の為に、近い三津田高校に尋ねたら、当時は、学区制なので宮原高校を紹介されました。無事編入試験を潜り抜けて、3年5組に配属されました。

わずか1ヶ年の宮原高校生活でしたが、ユニークな担任の先生(日本史担当、後に県教育委員会転勤)に巡り合い、初めて男女クラスで、机を並べました。また、クラスメイトの方々も明るくて、優秀な方ばかりでした。前の学校は、男女共学でしたが、1、2年時とも男子のみクラスでしたので、宮原高校で、初めての体験でした。進学クラスなので、皆さん懸命に学習され



ていました。小生は、仲間3人と、中通りの喫茶店「田園」で駄弁つてました(煙草とか酒等無縁でした)。昭和36年卒業なので、サンロク会の名称で、現在も続いています。東京近辺の方々が集まります。

上記の通りですので、同窓会に参加は、同期の方々に逢えるのを楽しみにしています。

先輩の方々や、後輩の方々には、面識がありませんが、東京の総会時には、参加するように努めています。

小川 嘉明(宮原28回)

東京に於いては非常に活発に同窓会活動がなされており、その同窓会に参加させていただいた際には、興味深い講和や色々なメンバーの方々との話し合いの機会を得て、素晴らしく有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

本当にありがとうございます。

今私は拠点に関西にあり、一定期間単身赴任にて東京に居ますので、こういう場で感想を述べさせていただく事自体恐縮しきりですが、同窓会報も東京同窓会、会員各位の情報交換ツールとして大切な役割を果たしており、その原稿のご依頼をいただく事自体誠に光栄な事で、かつ少しでもお役に立てて同窓会に出席した甲斐があったと思



いに耽っております。

高田 克樹(宮原32回)

昨年開催された東京九嶺宮原同窓会に参加させて頂き、その際「ウクライナ、台湾そして日本」と題し講演をさせて頂きました。ウクライナが何故侵攻を許したか、長径1000キロにも及ぶ戦線の現状はどうなっているのか、台湾有事を想定した場合の日本の役割はいかなるものか、平和を維持するために何が必要かなどをお話しさせて頂きました。1時間程度の講演でしたが、皆様熱心に聴講して下さい、終了後は多くの質問も頂き、私の方が多くの気付きを賜りました。



同窓会においては、本校のOBでもある峯本校長から宮原高校の現状と課題等をブリーフして頂き、生徒数が900名超から600名弱に減少したことや体育館の新設等大きく変化したものの、「自律・挑戦・貢献」の本校の精神は時代の変化にもかかわらず一貫して堅持されていることなど理解を深めることができました。

懇親会においては、多くの同窓生の皆様とそれぞれの時代の呉宮原高校を知ることができました。そして何より同期生との懇親は、40年以上の時間を一気にタイムスリップし、当時の思い出話で大いに盛り上がることができました。本年は、九嶺宮原創立100周

年の節目の年です。講演でお話ししました現在戦時下にあるウクライナやガザ地区の方々に思いを馳せ、150周年、200周年でも平和な日本であることを願いつつ、本校卒業生として自分ができることを引き続き模索して参りたいと思います。

澤 一郎 (宮原32回)

出合いを大切に

私は、1981年(昭和56年)卒になります。今回はじめて東京同窓会に参加させていただきました。

はじめに初参加に至った経緯を少し記させていただきます。

2022年に只で定年を迎え、予からの希望もあり雇用延長で横浜で単身赴任生活しております。人の出会いとは不思議なものでして、昨年の10月、横浜野毛のカープファンが集まる居酒屋でひとりで最終戦の応援をしていました。隣のテーブルに見覚えのある呉氏Tシャツを着た方と意気投合し、出身高校が同じ宮原ということに盛り上がりました。そうですこの時偶然に出会ったのが新事務局長の岡村さんだったのです。同窓会が11月にあることを紹介して頂き即参加を決めました。

場所は銀座、はじめての参加、それ

もひとりで・・・会場に着くまでは不安もありましたが会場につくと和気藹々とした雰囲気でも不安も吹き飛びました。テーブルが卒業年で纏まっていたこともよかったです。

はじめは名前と顔が一致しませんでした。お酒も進み昔話に興じているうちに少しずつおぼろげな記憶の点と点が繋がったりして笑ってばかりいました。そして昔話よりも近況の話のほうが皆さん笑顔が増えていたように感じました。皆さんと話していると今は現在と過去を行き来して時間を忘れ青春時代に戻ったかのような感覚さえ覚えました。また、来賓である現校長先生、呉市東京支部の方々や、諸先輩の方々とも親睦を深めることができました。帰路は心が温かくなったのを覚えています。

次回も是非参加させていただきたいと思えます。最後に事務局及び関係者のみなさまご苦勞様でした。素敵な時間をありがとうございました。

西村俊彦 (宮原44回)

2023懐かしき縁を綴る

九嶺東京同窓会には、同期3名で初めて参加し、偶々相席した後輩テノール歌手は同期の中学恩師の息子という縁に驚きました。もう少しテーブル間



を行き来出来るスペースがあれば良かったのですが、コロナ明け一発目の集まりですし、仕方ないかなあと。

元陸自幹部の講演にも興味深く耳を傾け、後ほど少しだけ会話出来たことも一つの財産です。やっぱり宮原高校の先輩は世話好き、おおらか、人当たりの良く、かつ世間から認められた優秀な方が多いと思います。三津田でなく宮原を選択して正解だったと改めて確信しています。

更に我々宮原44回は年末には呉森沢ホテルで同期会を開催し恩師とも時間を過ごすことが出来ました。2023年は懐かしの友人と再会、飲み交わす縁を大切に思う1年でした。

2023年 東京九嶺宮原同窓会 出席者名簿

1. ご来賓

所属	役職	御名前(敬称略)	年次	テーブル
九嶺宮原同窓会	会長	森澤 大司	宮原26	A
	副会長	村石 雅昭	宮原22	A
	常任理事	廣本 裕子	宮原28	A
呉宮原高校	校長	峯本 英紀	宮原33	F
呉市東京事務所	所長	山本 賢一		F
	主事	菅成 麻佑		F
三津田ヶ丘同窓会東京支部	事務局長	浜本 健夫	三31	B
		石崎 憲介	三37	B
関東広高校同窓会	会長	大岡 勝美	広32	B
	事務局長	大野 賢一	広44	B

ご来賓	10名
同窓会員	66名
合計	76名

2. 同窓会員

no.	氏名	旧姓	卒次	出身	テーブル
1	脇 伸治		宮原01	坪ノ内	G
2	大森 康臣		宮原05	和庄中	G
3	末永 盛士		宮原05	吉浦中	G
4	平賀 實		宮原11	和庄中	C
5	四俵 正俊		宮原12	吉浦中	C
6	末永 俊幸		宮原12	吉浦中	C
7	竹縄 雅章		宮原12	和庄中	H
8	塚本 紘史		宮原12	東畑中	H
9	松山 高久		宮原12	吉浦中	H
10	濱本 嶺生		宮原13	和庄中	H
11	脇本 省吾		宮原13	和庄中	A
12	阿利 節子	西村	宮原14	和庄中	D
13	立野 晴士		宮原14	和庄中	D
14	向川 譲		宮原14	東畑中	D
15	田中 俊輔		宮原16	宮原・和庄中	I
16	中本 博光		宮原16	宮原中	I
17	石井 巖		宮原17	和庄中	I
18	森原 基晴		宮原17	東畑中	I
19	泉 敏子	和田	宮原19	宮原中	E
20	外園 輝理	鎌田	宮原19	和庄中	E
21	泉 徹		宮原20	宮原中	E
22	太田 信義		宮原20		E
23	倉田 正典		宮原20	警固屋・宮原中	J
24	橋野みどり	掛江	宮原21	両城中	J
25	小川 徹		宮原22	江田島中	J
26	河端 孝明		宮原23	東畑中	J
27	段野 幹男		宮原23	宮原中	J
28	伊東 正博		宮原25	宮原中	M
29	山本 信夫		宮原25	宮原中	M
30	森脇 正彦		宮原26	両城中	M
31	小川 嘉明		宮原28		L
32	乙田 武司		宮原28		L
33	光岡哲太郎		宮原28	和庄中	L

no.	氏名	旧姓	卒次	出身	テーブル
34	守口 徹		宮原28	片山中	L
35	和田 由香	仁井岡	宮原29	両城中	M
36	島倉 広美	中川	宮原30	昭和中	K
37	花本 秀生	荒木	宮原30		K
38	岡村 弦一		宮原31	和庄中	B
39	正法地哲彦		宮原31	和庄中	K
40	曾根 猛正		宮原31	江田島中	K
41	出本 潔		宮原31	宮原中	C
42	二宮 信二		宮原31	和庄中	D
43	野戸 正志		宮原31	東畑中	K
44	垣中 祐二		宮原32		O
45	久保田瑞美	村上	宮原32	宮原中	O
46	澤 一郎		宮原32	宮原中	O
47	高田 義三		宮原32	天応中	O
48	高田 克樹		宮原32	両城中	F
49	柄 賢江	坂井	宮原32	宮原中	P
50	柄 浩司		宮原32	片山中	P
51	林 修樹		宮原32	片山中	P
52	川西 幹		宮原32		P
53	杉本 建		宮原33		Q
54	玉井 信光		宮原33		Q
55	中村 義憲		宮原33	宮原中	Q
56	成宮 浩司		宮原33	音戸中	Q
57	牧 理津子	大中	宮原33		Q
58	野間 克司		宮原34	東畑中	R
59	木本 国広		宮原35		R
60	杉田 憲英		宮原39	昭和北中	R
61	宮本謙一郎		宮原39	和庄中	R
62	丸古 玲子		宮原40		R
63	岩野 剛志		宮原44		S
64	国保祐一郎		宮原44		S
65	西村 俊彦		宮原44		S
66	澤原 行正		宮原55	和庄中	S

以上



©深谷義宣 /ayuraY2

同窓生ニュース 世田谷ジュニア合唱団を設立して

掛江みどり (宮原21回)

1992年7月に「世田谷ジュニア合唱団」を設立して、早いもので30年余となりました。

それまで幅広い年代の合唱指導をするなかで、「子どものころに培った音楽の基礎は一生の財産になる」と確信し、自身の合唱団を創ろうと思いついたのです。

急速に少子化が進む中で、多くの子どもたちとともに30年の歴史を重ねられたことは本当に有難いことです。

現在は、3歳から高校生までの50名近い子どもたちが世田谷区内外から通います。幼児はわらべ歌やリトミック

を親子で楽しみながら耳と身体全体で音楽を感じます。成長途上の子どもたちが無理のない発声を身につけ、周りの声を聴けるよい耳を育て、皆で美しいハーモニーを作り上げる。この過程が子どもたちの今、そして未来にとって心掛けて指導してきました。

定期演奏会を開催するほか、お陰様でたくさんのご縁があり、オペラやオーケストラ作品で世界的な演奏家の方々と共演させていただいていることも望外の喜びです。

コロナ禍を乗り越えて2023年春に開催した30周年記念演奏会では、2歳から高校3年生までのメンバーのほか、創立時のメンバーを含むOGも参加し、懐かしい童謡から現代作曲家のミサ曲まで幅広いレパートリーを披露しました(※1)。また、とりわけ日本語の歌を美しい発声で歌うことを大切にしてきた成果は、20周年記念演奏会の20分にわたる童謡・唱歌の大メドレーでお聴きいただけます(※2)。

さらに、数々のプロ公演のなかでも新国立劇場オペラには格別のご縁をいただけてきました。2023・24シーズンの幕開けを飾った10月公演「子どもと魔法」(「修道女アンジェリカ」との二本立て)では、小1から高1までの13名がフランス語の早口言葉で歌う役を演じ、好評をいただきました。この公演は6月まで新国立劇場が無料配信していますので、ご覧いただければ幸いです(※3)。

そして、つい先日終演した東京フィルハーモニー交響楽団3月定期演奏会(「バッティストーニ指揮」「カルミナ・ブラーナ」)では、大きな拍手と喝采をいただいたばかりです。(※4)

子どもたち一人ひとりの日々の小さな成長、そして本番を終えた子どもたちのほじける笑顔に支えられる日々です。



↑ ※ 3



↑ ※ 1



↑ ※ 4



↑ ※ 2

パシフィックフィルハーモニア東京特別演奏会 (2023.8.30)



© Takashi Fujimoto



創立 30 周年記念演奏会 (2023.3.12)



新原呉市長と澤原さん 委嘱状交付式にて

同窓生ニュース 祝「くれ観光特使」ご就任 澤原行正さん (宮原55回)

テノール歌手・澤原行正さん(宮原55回)は、国内外でご活躍ですが、常に「故郷・呉」を大切にされています。「呉で藤井清水を歌う」「呉で本格的なオペラを」と、何かにつけて「呉で」というキーワードを掲げ、熱い思いで「藤井清水の会」も「あこがれシリーズ」も、ハードスケジュールの合間を縫って回数を重ねてこられました。その他、合唱団でもタクトを振られるなど、その活動は多岐にわたります。

その澤原さんが、昨春秋、呉市の「観光特使」に任命され、11月6日に市役所にて委嘱状交付式がありました。その後して、私も新原市長にお目に掛かるチャンスがありましたので、話題にしますと、市長も公演には何度も足を運ばれていて、益々のご活躍を期待されているとの事。同窓生として誇らしいですね。

実は3月に帰省した際に、澤原さんが出演される「くれまちかどコンサート」の情報が入り、タナボタで聴かせて頂きました。当日は、軽妙なトークを織り交ぜながら、魅惑のテノールに満席の会場が魅了されて、大喝采！このような地道な活動が、クラシック音楽の裾野を広げていくのだと感じました。又、新年度には、母校主催の鑑賞会も企画されているとか!?密かに希望していた、私の願いが叶うホットニュースに胸躍りました。

芸術は心の栄養です。中でも可視化できない音楽は、殊更心に響きます。感受性の強い時期に、「生で」「本物」を聴くというチャンスは、どれほど貴重な事でしょう。在校生の皆さんには、しっかりと受け取って頂きたいものです。

【今後の予定】
♪6月6日「藤井清水作品を歌う」音楽の友社ホール(神楽坂)
♪7月27日「あこがれシリーズ Vol.9」モーツァルトの「コジ・ファン・トゥッテ」ハイライト
呉市庁舎の新日本造機ホール(絆ホール)
♪8月4日 モーツァルトの「コジ・ファン・トゥッテ」ハイライト
かなつくホール(東神奈川駅直結)♪プロフィール♪

【澤原行正(Takamasa Sawahara)】
愛媛大学及び東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。現在、桐朋学園大学大学院博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。テノール。オペラ「カルメン」にてオペラデビュー。以降様々なオペラに出演。「メサイア」、「第九」などのソリストとしても活躍。
呉市でオペラ公演を目指し、毎年コンサート「あこがれ」を開催。藤井清水の作品演奏にも積極的に取り組んでいる。二期会会員。

★澤原さんの、X(旧Twitter)、HPのメルマガ配信「Facebook公式ページ」も要チェックです！

寄稿

呉宮原で得た感覚

杉田 憲英(宮原39回)

同窓会に出席するたび、先生、学友との思い出とともに、心に浮かぶことが呉宮原高校からの風景です。

呉を離れ、日本中、世界中、いろいろな地を訪れましたが、あの景色は、どの方角も素晴らしいものです。瀬戸内・呉は、四季折々、日々、美しい景色であり、古代から国際・国内交流の盛んな、歴史・文化・自然の豊かな地です。軍港・呉は、高度産業技術が集積し、多くの有為の人材が集う、歴史ドラマの地です。工業都市・呉は、日本が敗戦から立ち上がり、高度経済成長を支えた拠点の地です。

そういう風景から得られる自然的、歴史的、文化的な感覚は、豊かな感受性、多様な・世界的な視点を養うことには大いに役立つものと感じますので、現役生徒たちも、そういう感覚を身に付け

文責：和田由香(宮原29回)



て飛躍・活躍をしていただきたいと願います。

呉宮原高校創立百周年を迎えるに当たり、同窓会員の交流や生徒たちの学び支援など、同窓会活動が隆盛となるよう、祈念申し上げます。

100年の青春

丸古 玲子 (宮原40回)

わたしが入学したころは三校(宮原、三津田、広)合同の入学試験で、合格発表があるまで自分がどこに行くのかわからなかった。いま思えば乱暴な話である。中学生の分際では各学校の雰囲気や大学合格率なんて知らないし興味もない。強いて言うなら縁者に三津田が多かったため、自分も三津田ならいいなと思った。が、蓋を開けると宮原であった。仲の良かった友人は三津田で喜んでおり、その笑顔を複雑な心



東京九嶺宮原同窓会 会長 脇本省吾さんのインタビューも収録。

境で眺めた記憶がある。

勉強の三津田、スポーツの広、遊び(色)の宮原とは、だれが言い出したものだろう。わたしは入学してから知った。体感的には遊びだけではない高校時代を過ごした。勉強したし、運動も音痴ながらやったし、演劇部もがんばった。絶妙なバランスの宮原でよかったと在学中から思ったし、いままそうだ。

遊びのなにかが悪いのか、と大人になつて思う。人に迷惑をかけたたり、自分自身を破壊する遊びは断固として除外するとして、世の中を知る遊びには若いうちから関心を持ちたい。20代半ばからマスコミ業界に片足をツツこむようになり、見聞したところ、たとえばマガジンハウスの編集マンが夜な夜な集まる飲食店は穴場だ、というような風潮があった。感性の鋭い編集マンが流行りをつくるという見立てで、つまり編集マン自身も常にアンテナを

張っていないなければならない。ところが時代は窮屈になる一方。わたしにも経験がある。旅行ガイド本をつくる際、自らの足で新たな発掘に出かけることなく、前年の焼き直しで済ませる方法

が編み出されたのだ。予算や人員が不足しての事態だが、人は楽に慣れる生き物だから、それがふつうになっていく。わたしたちは汗水たらしての「発見」や「発掘」や「探究」をしなくなった。全校で取り組んでおられる「探究活動」を全力で支援する。あなたがやらなければ気づかれないまま埋もれていくものがあるのだから。本年2月12日発行『呉本G3』では、自身の呉第二中学校卒業の信友良則さん(映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」主人公)にもインタビューし青春時代の想いも聞いた。戦争一色のなかに結ばれた確固たる友情と、悔しさ。良則さん御年103歳。100周年の母校もまだまだこれから。

第32回 宮原高校OBゴルフコンペへ 開催

第32回宮原高校OBゴルフコンペは2023年10月27日(金)

埼玉「飯能パークカントリークラブ」で行われました。後半のラウンド半ば

竹縄雅章 (宮原12回)

過ぎに、カミナリの音が数回、その後2ホールばかり驟雨に見舞われたものの、前半ラウンドは爽やかな秋晴れの下絶好のゴルフ日和を堪能できました。



今回は、17期生の奥要治さん、31期生の岡村弦一さんと出本潔さんの3人の初参加を迎えました。

次回33回もすこし若返りが期待できそうです。

2024年5月23日(木) 紫カントリークラブあやめコース。

初参戦!!

出本 潔 (宮原31回)

初めて参加させて頂きました。何よりも、驚きましたことは、傘寿古希を越えた先輩方が、極めて壮健であられたことです。還暦を過ぎたばかりの私が「腰が痛い」、「足が痛い」と言っていたのが恥ずかしく思われました。次回はベストコンディションで、参加したいと思っています。

呉市関連イベント情報（関東地区開催）

東京で呉市（呉氏？）に会えるイベントです！



11月9日 呉ファンクラブでのスナップ 左から2人目が、今回役員を退任された阿利さん（宮原14回）



9月2日 瀬戸内フェアの様子

●R5実績およびR6予定について

令和5年度実績

	イベント名	日程	場所
①	中核市ご当地じまんフェア	令和5年6月	霞が関
②	瀬戸内フェア	令和5年9月	光が丘
③	呉ファンクラブ交流会	令和5年11月	半蔵門
④	サイクゥ〜祭	令和6年1月	霞が関
⑤	広島祭じゃ！全員集合2024	令和6年2月	赤坂

令和6年度予定

	イベント名	日程
①	中核市ご当地じまんフェア	開催時期未定
②	瀬戸内フェア	開催時期未定
③	呉ファンクラブ交流会	開催時期未定
④	サイクゥ〜祭	開催未定
⑤	広島祭じゃ！全員集合	開催未定

※④サイクゥ〜祭（今年度は1月30日～1月31日実施）

⑤広島祭じゃ！全員集合2024（今年度は2月15日～2月16日実施）

の2件については、今年度のイベント終了後に、来年度の実施について協議する予定です。

開催情報の詳細は「呉市東京事務所のSNS」で随時ご確認の上ご参加下さい。



Instagram



X (旧 Twitter)



Facebook



保田(塚本)順子(宮原7回)

ご苦労様です。兄弟5人が宮原高校でお世話になりましたが高齢化です。

91才で亡くなった兄(長男)の1周忌に帰郷いたしました。いつまでも懐かしいところです。

原 武(宮原9回)

現在呉市の信用金庫ホール名誉館長をしています。ふるさと呉市の文化振興にと、微力ながら働いています。

木内(松野)裕美子(宮原10回)

いつも会報を拝見してなつかしく思い出し、元気をいただいています。

橋本(砂盛)徳子(宮原15回)

ご盛会をお祈り申し上げます。おかげ様にて元気に過ごしております。アルカディア市ヶ谷会場その他に参加させていただきました。同窓の方のお話懐かしいです。

堀岡正樹(宮原15回)

呉には年5か月は行っています。春秋は呉で在住します。旧交を温めています。東京より呉が楽しいですよ。

大下頼彦(宮原15回)

一人居やそーめんゆでですするのみ一人居の部屋のぞき見て夏の蝶早朝のラジオ体操赤とんぼ

中本博光(宮原16回)

今年も日帰りで富士山に登頂。一昨年、昨年の最高齢登頂者佐川トメさん(S2年生まれ)に邂逅。長早さん(S30年生まれ)と一緒。上り6日、下り4日の日程の富士登山と言っていました。96才での登山に感嘆しました。

大森(桑原)美子(宮原17回)

同窓会の役員の皆様、ご苦労様です。私は76才になりましたが、毎日元気に働き、楽しく趣味にも励んでいます。

森本茂夫(宮原17回)

75才を超え近隣エリアで新しいビジネスチャンスをみつけて食事や場所の魅力を掘り下げています。これからも探索を続け、可能性を広げて行きます。

三浦敏明(宮原18回)

18回卒業生は11月に誌上同期会を行います。その準備の一環として7月末〜10月初旬に毎日曜日午前中ZOOMで皆様にお会いしています。

宮脇克介・(林)洋子(宮原18回)

18期生は今、75才まで生きた証として200〜300字の文集とズームでの雑談会をやっております。

重永(山口)洋子(宮原19回)

いつも同窓会会報を送付していただきありがとうございます。今後も楽しみにしていますのでよろしくお願いいたします。

野田 進(宮原19回)

ミャンマー人教育受け入れに携わっています。

海老澤(小川)啓子(宮原21回)

今年で72才になりましたが今も現役で仕事しています!!

橋野(掛江)みどり(宮原21回)

「掛江みどり」として仕事は行っております。

尾崎重之(宮原30回)

8月3日に呉で開催された30回生の同窓会に参加しました!東京同窓会の盛会をお祈りいたします。

丹野雅巳(宮原31回)

福岡県の南の筑後市に移住して5年経ち、在宅勤務で働いています。

早田(片山)真理(宮原33回)

福岡へ転居することになりました。この同窓会では多くの先輩後輩から様々なお話を伺い同じ呉出身者として視野を広め励まされました。また事務局の皆様にも大変お世話になりました。

どうぞございました。東京同窓会の皆様

のこれからの健康とご活躍を心よりお祈りしております。岡村様 期が近く、交流できず残念でした。33期の方たち、皆さん活発ですのでよろしく願います。

樋口賢一(宮原36回)

建築現場の設備配管工として忙しく

頑張っています。

栗田(川野)美智子(宮原41回)

東京同窓会の活動があることで心強く思っています。いつか参加したいと思っています。ご連絡下さいましてありがとうございます。

訃報

(敬称略)

謹んでお知らせいたします

(2023年3月以降、

事務局で把握できている方々です)

上田中得男(九嶺21)

2023年4月逝去

栗林 健夫(宮原5)

2023年9月28日逝去

山田 忠文(宮原5)

2023年12月29日逝去

岩田 伸尚(宮原6)

2021年11月12日逝去

末廣 英雄(宮原7)

2022年9月22日逝去

村上 勝彦(宮原7)

2022年12月19日逝去

田口 隆彦(宮原8)

2020年逝去

芦刈 浩(宮原11)

2024年2月逝去

早川 淑子(宮原12)

2022年12月逝去

一乘 茂治(宮原14)

2022年10月31日逝去

横田 淳(宮原34)

2017年6月逝去

予告

2024年度 東京九嶺宮原同窓会 総会

日時：2024年11月30日（土）12時より

立地は便利な青山一丁目、アクセス抜群です。会場は全面ガラス張りで明るく天井も高いです！

従来は隔年で会計年度に総会と併せて同窓会を開催していましたが、コロナ禍で総会が暫く開催できなかったこともあり、昨年はイレギュラーでの開催となりました。よって今年が通常の総会開催となります。



※詳細及び出欠は6月頃別途案内させていただきます。

呉宮原高等学校創立100周年記念式典について（速報）

今年で呉宮原高等学校は創立100周年を迎えます

詳細についてはこれから順次発表があると思いますが、まずは皆様に速報としてお知らせいたします

1. 記念式典

令和6年11月16日（土）午後 呉信用金庫ホール

2. 記念祝賀会

同日夜 呉森澤ホテル

3. 創立100種年記念誌 発行

令和7年2月予定 記念名簿は昨年作成、発送済み



【創立100周年シンボルマーク】

協賛金御礼

前年度（19期）以降、次の方々から協賛金の協力をいただきました。ありがとうございます。

河原 玲子（宮原5回）
酒井 喜子（宮原7回）
岩田 洋一（宮原11回）
藤川多恵子（宮原12回）
西村 哲（宮原31回） 米国在住

事務局からの連絡

①当会では年会費千円と定めています。会計年度は2年間を一期として期毎に（2年に一度）二千円のご協力をいただいております。

②併せて協賛金のご協力もお願い致します。

③振込人氏名は必ずご記入ください。

④同窓会からの連絡用としてメールアドレスの登録をお願いしています。

振込票に記入するか事務局宛てメールで連絡をお願いします。

⑤当会の会報の送付及び情報（総会通知等）の提供が不要の方はハガキ、Eメール等で事務局あてお知らせ下さい。

さい。

Eメール：gokamura1215@gmail.com

⑥会費未納付の方には、今後、「会報の送付及び総会案内状等」の発送は、

休止させていただく予定です。

⑦会員の異動等（住所変更等）を事務局宛お知らせください。

編集後記

1. 今回も無事、会報を発行することができました。母校校長や呉同窓会会長に快く投稿に協力いただいたこと、役員や会員の方のご協力の賜物です。ありがとうございます。また皆様からの忌憚ないご意見・感想をお願いたします。

2. 世代も変わってきて会報発行を続けていくことの難しさを感じています。やり方を見直しながらも続けていければと思います。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

3. 5年ぶりの総会開催は大盛り上がりで楽しかったです。私は初参加でしたが特に先輩方のお元氣な姿をみて私もそうありたいなと感じた次第です。

事務局長：岡村弦一（宮原31回）

事務局連絡先

Eメール：gokamura1215@gmail.com

com

電話：090-24421-7841

同窓会ホームページ

<http://tokyomiyahara.info/>